

低 圧 深 夜 電 力

(選 択 約 款)

平成21年4月1日 実施

中 部 電 力 株 式 会 社

I 本 則

1 目 的

この選択約款は、負荷の平準化を促進し、電力設備の効率的な使用に資することを目的といたします。

2 選択約款の届出および変更

- (1) この選択約款は、電気事業法第19条第7項の規定にもとづき、経済産業大臣に届け出たものです。
- (2) 当社は、この選択約款を変更することがあります。この場合には、電気料金その他の供給条件は、変更後の選択約款によります。
- (3) 当社は、電気供給約款（平成21年3月3日届出。以下「供給約款」といいます。）を変更した場合には、この選択約款を変更いたします。

3 低圧深夜電力A

(1) 適用範囲

毎日午後11時から翌日の午前7時までの時間を限り、温水のために動力（小型機器は動力とみなします。）を使用する需要で、その総入力が0.5キロワット以下であり、かつ、お客さまが1年を通じてこの契約種別の適用を受けることを希望される場合に適用いたします。

(2) 供給電気方式，供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトとし、周波数は、標準周波数60ヘルツといたします。

(3) 契約電力

契約電力は、0.5キロワットといたします。

(4) 供給条件

イ 他の契約種別と同一の負荷設備を使用することはできません。

ロ 専用の屋内電路を施設し、直接負荷設備に接続していただきます。

ハ 当社は、供給設備の状況により、(1)の使用開始時刻を前後2時間の範囲内で変更することがあります。ただし、契約上電気を使用できる時間（以下「契約使用時間」といいます。）の延長または短縮は行ないません。

ニ 契約使用時間以外の時間は、適当な装置を用いて電気の供給をしゃ断いたします。

(5) 料 金

料金は、早収期間内に支払われる場合には早収料金とし、早収期間経過後に支払われる場合には遅収料金といたします。ただし、供給約款27（料金の算定）(1)イの場合で、需給契約が消滅したときに供給約款28（日割計算）に準じて日割計算をしてえた料金については、早収料金といたします。

イ 早収料金

早収料金は、1月につき次のとおりといたします。ただし、別表2（燃料費調整）(1)イによって算定された平均燃料価格が29,500円を下回る場合は、別表2（燃料費調整）(1)ニによって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし、別表2（燃料費調整）(1)イによって算定された平均燃料価格が29,500円を上回る場合は、別表2（燃料費調整）(1)ニによって算定された燃料費調整額を加えたものといたします。

1 契約につき	1,105円65銭
---------	-----------

ロ 遅収料金

遅収料金は、早収料金にその3パーセントを加えたものといたします。

(6) その他

イ お客さまが希望される場合は、1 需要場所において、供給約款による電気の供給またはこの選択約款以外の選択約款による電気の供給と、この契約種別による電気の供給とをあわせて受けることができます。

ロ その他の事項については、次に定める場合を除き、供給約款の低圧電力にかかわる規定を準用するものといたします。

(イ) 供給約款36（供給の停止）(3)に定める事項については、供給約款の農事用電力に準ずるものといたします。この場合、供給約款36（供給の停止）(3)へにいう契約使用期間以外の期間は、契約使用時間以外の時間といたします。

(ロ) 供給約款38（供給停止期間中の料金）に定める事項については、停止期間中の料金を申し受けません。

(ハ) 供給約款41（制限または中止の料金割引）に定める事項については、割引対象時間は、契約使用時間といたします。

(ニ) 供給約款47（需給開始後の需給契約の廃止または変更にともなう料金および工事費の精算）に定める事項については、適用いたしません。

ハ この選択約款の実施上必要な細目的事項については、Ⅱ（実施細目）によるものといたします。

4 低圧深夜電力B

(1) 適用範囲

毎日午後11時から翌日の午前7時までの時間を限り、低圧で電気の供給を受けて動力（小型機器は動力とみなします。）を使用する需要で、契約電力が50キロワット未満であり、かつ、お客さまが1年を通じてこの契約種別の適用を受けることを希望される場合に適用いたします。

(2) 契約電力

イ 契約電力は、契約負荷設備の総入力といたします。ただし、契約負荷設備に電熱負荷設備以外の負荷設備がある場合は、電熱負荷設備以外の負荷設備について供給約款20（低圧電力）(4)イに準じて算定してえた値と電熱負荷設備の総入力との合計といたします。

ロ 契約電力の単位は、1キロワットとし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。ただし、イによってえた値が1キロワット以下となる場合は、契約電力を1キロワットといたします。

(3) 供給条件

イ 他の契約種別と同一の負荷設備を使用することはできません。

ロ 専用の屋内電路を施設し、直接負荷設備に接続していただきます。

ハ 当社は、供給設備の状況により、(1)の使用開始時刻を前後2時間の範囲内で変更することがあります。ただし、契約使用時間の延長または短縮は行ないません。

ニ 契約使用時間以外の時間は、適当な装置を用いて電気の供給を原則としてシャ断いたします。

(4) 料 金

料金は、早収期間内に支払われる場合には早収料金とし、早収期間経過後に支払われる場合には遅収料金といたします。ただし、供給約款27（料金の算定）(1)イの場合で、需給契約が消滅したときに供給約款28（日割計算）に準じて日割計算をしてえた料金については、早収料金といたします。

イ 早収料金

早収料金は、基本料金および電力量料金の合計といたします。ただし、別表1（通電制御型夜間蓄熱式機器）に定める通電開始時刻が制御可能な貯湯式電気温水器または蓄熱式電気暖房器等の機器（以下「通電

制御型夜間蓄熱式機器」といいます。)を使用する場合は、早収料金は、基本料金および電力量料金の合計から(ハ)によって算定された通電制御型夜間蓄熱式機器割引額を差し引いたものといたします。また、電力量料金は、別表2(燃料費調整)(1)イによって算定された平均燃料価格が29,500円を下回る場合は、別表2(燃料費調整)(1)ニによって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし、別表2(燃料費調整)(1)イによって算定された平均燃料価格が29,500円を上回る場合は、別表2(燃料費調整)(1)ニによって算定された燃料費調整額を加えたものといたします。

(イ) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりといたします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額といたします。

契約電力1キロワットにつき

294円00銭

(ロ) 電力量料金

電力量料金は、その1月の使用電力量によって算定いたします。

1キロワット時につき

9円33銭

(ハ) 通電制御型夜間蓄熱式機器割引額

通電制御型夜間蓄熱式機器割引額は、次の式によって算定された金額といたします。

通電制御型夜間蓄熱式機器割引額 = 割引対象額 × 15パーセント

その1月の使用電力量
割引対象額＝(イ)の基本料金＋に(ロ)の該当料金を適用
して算定された金額

ロ 遅収料金

遅収料金は、早収料金にその3パーセントを加えたものといたします。

(5) その他

イ お客さまが希望される場合は、1 需要場所において、供給約款による電気の供給またはこの選択約款以外の選択約款による電気の供給と、この契約種別による電気の供給とをあわせて受けることができます。

ロ その他の事項については、次に定める場合を除き、供給約款の低圧電力にかかわる規定を準用するものといたします。

(イ) 供給約款36（供給の停止）(3)に定める事項については、農事用電力に準ずるものといたします。この場合、供給約款36（供給の停止）(3)へにいう契約使用期間以外の期間は、契約使用時間以外の時間といたします。

(ロ) 供給約款41（制限または中止の料金割引）に定める事項については、割引対象時間は、契約使用時間といたします。

(ハ) 供給約款47（需給開始後の需給契約の廃止または変更にともなう料金および工事費の精算）に定める事項については、適用いたしません。

ハ この選択約款の実施上必要な細目的事項については、Ⅱ（実施細目）によるものといたします。

II 実施細目

1 低圧深夜電力A

契約使用時間を区分し、または契約使用時間以外の時間の電気の供給をしゃ断する装置は、供給約款56（計量器等の取付け）(1)にいう区分装置として取り扱うものといたします。

2 低圧深夜電力B

(1) 供給条件

イ 契約使用時間以外の時間に電気の供給をしゃ断しない場合は、原則として電気を使用していないことを確認する装置を取り付けます。

ロ 契約使用時間を区分し、または契約使用時間以外の時間の電気の供給をしゃ断する装置は、供給約款56（計量器等の取付け）(1)にいう区分装置として取り扱うものといたします。

(2) 通電制御型夜間蓄熱式機器にかかわる取扱い

イ 通電制御型夜間蓄熱式機器

(イ) 通電制御型夜間蓄熱式機器を取り付けもしくは取り替えまたは取り外される場合は、当社に申し出ていただきます。

(ロ) 当社は、別表1（通電制御型夜間蓄熱式機器）に定める通電制御型夜間蓄熱式機器の機能を確認させていただきます。この場合、当社は、通電制御型夜間蓄熱式機器の機能を証明する書類等を提示していただくことがあります。

ロ 通電制御型夜間蓄熱式機器割引額の算定

(イ) 契約負荷設備に通電制御型夜間蓄熱式機器以外の負荷設備がある場合の通電制御型夜間蓄熱式機器割引額は、次の式によって算定いたします。

通電制御型夜間蓄熱式機器割引額 = 割引対象額 × 15パーセント × 割引対象率

$$\text{割引対象率} = \frac{\text{通電制御型夜間蓄熱式機器の負荷設備容量(入力)}}{\text{契約負荷設備の総容量(入力)}} \times 100$$

なお、割引対象率の単位は、1パーセントとし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。

- (ロ) 通電制御型夜間蓄熱式機器を取り付けもしくは取り外され、または割引対象率に変更となることにより、料金に変更があった場合は、供給約款28（日割計算）に準じて日割計算をいたします。
- (ハ) 通電制御型夜間蓄熱式機器を取り付けまたは取り替えられた場合の通電制御型夜間蓄熱式機器割引額は、お客さまの申出にもとづいて当社が通電制御型夜間蓄熱式機器であることを確認した日以降の料金について適用いたします。
- (ニ) (ロ)または供給約款27（料金の算定）(1)ロの場合で、日割計算をするときは、料金に変更があった日の前後の期間ごとに割引対象額を算定いたします。この場合、それぞれの期間の使用電力量は、その1月の使用電力量を料金に変更があった日の前後の期間の日数に契約電力を乗じた値の比率であん分したものといたします。
- (ホ) 供給約款41（制限または中止の料金割引）によって割引を行なう場合は、通電制御型夜間蓄熱式機器の割引対象額は、本則4（低圧深夜電力B）(4)イ(ハ)によって算定された割引対象額から供給約款41（制限または中止の料金割引）による割引額を差し引いたものといたします。

附 則

1 実施期日

この選択約款は、平成21年4月1日から実施いたします。

2 燃料費調整についての特別措置および経過措置

(1) 適用期間

イ 適用期間は、平成21年4月の検針日から平成22年3月の検針日の前日までといたします。

ロ 低圧深夜電力Aの場合は、イにいう検針日は、そのお客さまの属する検針区域の検針日といたします。

(2) 燃料費調整

(1)に定める適用期間における、本則3（低圧深夜電力A）(5)イの早取料金または本則4（低圧深夜電力B）(4)イの電力量料金について、燃料費調整（燃料費調整額を加えることまたは差し引くことをいいます。）は、各項の規定によらず、燃料費調整単価が(4)ロ(イ)により算定される場合は、(5)によって算定された燃料費調整額を差し引くものとし、燃料費調整単価が(4)ロ(ロ)、(ハ)または(ニ)により算定される場合は、(5)によって算定された燃料費調整額を加えるものといたします。

(3) 平均燃料価格

原油換算値1キロリットル当たりの平均燃料価格は、貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき、次の算式によって算定された値といたします。

なお、平均燃料価格は、100円単位とし、100円未満の端数は、10円の位で四捨五入いたします。

$$\text{平均燃料価格} = A \times \alpha + B \times \beta + C \times \gamma$$

A = 各平均燃料価格算定期間における1キロリットル当たりの平均

原油価格

B = 各平均燃料価格算定期間における 1 トン当たりの平均液化天然
ガス価格

C = 各平均燃料価格算定期間における 1 トン当たりの平均石炭価格

$$\alpha = 0.0445$$

$$\beta = 0.4282$$

$$\gamma = 0.5104$$

なお、各平均燃料価格算定期間における 1 キロリットル当たりの平均原油価格、1 トン当たりの平均液化天然ガス価格および 1 トン当たりの平均石炭価格の単位は、1 円とし、その端数は、小数点以下第 1 位で四捨五入いたします。

(4) 燃料費調整単価

イ 基準となる燃料費調整単価

(イ) 基準となる燃料費調整単価（以下「基準燃料費調整単価」といいます。）は、各契約種別ごとに次の算式によって算定された値といたします。

なお、基準燃料費調整単価の単位は、1 銭とし、その端数は、小数点以下第 1 位で四捨五入いたします。

a 1 キロリットル当たりの平均燃料価格が 29,500 円を下回る場合

$$\text{基準燃料費調整単価} = (29,500 \text{円} - \text{平均燃料価格}) \times \frac{\text{(6)の基準単価}}{1,000}$$

b 1 キロリットル当たりの平均燃料価格が 29,500 円を上回り、かつ、44,300 円以下の場合

$$\text{基準燃料費調整単価} = (\text{平均燃料価格} - 29,500 \text{円}) \times \frac{\text{(6)の基準単価}}{1,000}$$

- c 1キロリットル当たりの平均燃料価格が44,300円を上回る場合
平均燃料価格は、44,300円といたします。

$$\begin{array}{l} \text{基準燃料費} \\ \text{調整単価} \end{array} = (44,300\text{円} - 29,500\text{円}) \times \frac{\text{(6)の基準単価}}{1,000}$$

- (ロ) 各平均燃料価格算定期間の平均燃料価格によって算定された基準燃料費調整単価は、その平均燃料価格算定期間に対応する基準燃料費調整単価適用期間に使用される電気に適用となる燃料費調整単価の算定に適用いたします。

- a 各平均燃料価格算定期間に対応する基準燃料費調整単価適用期間は、bの場合を除き、次のとおりといたします。

平均燃料価格算定期間	基準燃料費調整単価適用期間
平成20年12月1日から平成21年2月28日までの期間	平成21年4月の検針日から平成21年5月の検針日の前日までの期間
平成21年1月1日から平成21年3月31日までの期間	平成21年5月の検針日から平成21年6月の検針日の前日までの期間
平成21年2月1日から平成21年4月30日までの期間	平成21年6月の検針日から平成21年7月の検針日の前日までの期間
平成21年3月1日から平成21年5月31日までの期間	平成21年7月の検針日から平成21年8月の検針日の前日までの期間
平成21年4月1日から平成21年6月30日までの期間	平成21年8月の検針日から平成21年9月の検針日の前日までの期間
平成21年5月1日から平成21年7月31日までの期間	平成21年9月の検針日から平成21年10月の検針日の前日までの期間
平成21年6月1日から平成21年8月31日までの期間	平成21年10月の検針日から平成21年11月の検針日の前日までの期間
平成21年7月1日から平成21年9月30日までの期間	平成21年11月の検針日から平成21年12月の検針日の前日までの期間
平成21年8月1日から平成21年10月31日までの期間	平成21年12月の検針日から平成22年1月の検針日の前日までの期間
平成21年9月1日から平成21年11月30日までの期間	平成22年1月の検針日から平成22年2月の検針日の前日までの期間
平成21年10月1日から平成21年12月31日までの期間	平成22年2月の検針日から平成22年3月の検針日の前日までの期間

- b 低圧深夜電力Aの場合は、各平均燃料価格算定期間に対応する基準燃料費調整単価適用期間は、aに準ずるものといたします。この

場合、aという検針日は、そのお客さまの属する検針区域の検針日といたします。

ロ (1)に定める適用期間に使用される電気に適用となる燃料費調整単価

(1)に定める適用期間に使用される電気に適用となる燃料費調整単価は、各契約種別ごとに次の算式によって算定された値といたします。

(イ) 1キロリットル当たりの平均燃料価格が29,500円を下回り、かつ、基準燃料費調整単価が、ハに定める特別措置の燃料費調整単価および経過措置の燃料費調整単価の合計以上となる場合

$$\text{燃料費調整単価} = \text{基準燃料費調整単価} - \left(\text{ハに定める特別措置の燃料費調整単価} + \text{ハに定める経過措置の燃料費調整単価} \right)$$

(ロ) 1キロリットル当たりの平均燃料価格が29,500円を下回り、かつ、基準燃料費調整単価が、ハに定める特別措置の燃料費調整単価および経過措置の燃料費調整単価の合計を下回る場合

$$\text{燃料費調整単価} = \left(\text{ハに定める特別措置の燃料費調整単価} + \text{ハに定める経過措置の燃料費調整単価} \right) - \text{基準燃料費調整単価}$$

(ハ) 1キロリットル当たりの平均燃料価格が29,500円の場合

$$\text{燃料費調整単価} = \text{ハに定める特別措置の燃料費調整単価} + \text{ハに定める経過措置の燃料費調整単価}$$

(ニ) 1キロリットル当たりの平均燃料価格が29,500円を上回る場合

$$\text{燃料費調整単価} = \text{基準燃料費調整単価} + \left(\text{ハに定める特別措置の燃料費調整単価} + \text{ハに定める経過措置の燃料費調整単価} \right)$$

ハ 特別措置の燃料費調整単価および経過措置の燃料費調整単価

(イ) 低圧深夜電力A

特別措置の燃料費調整単価および経過措置の燃料費調整単価は、1月につき次のとおりといたします。

	適用期間	特別措置の 燃料費調整単価	経過措置の 燃料費調整単価
1 契 約 に つ き	平成21年4月の検針日から 平成21年5月の検針日の前 日までの期間	33円83銭	36円57銭
	平成21年5月の検針日から 平成21年6月の検針日の前 日までの期間	33円83銭	36円57銭
	平成21年6月の検針日から 平成21年7月の検針日の前 日までの期間	33円83銭	36円57銭
	平成21年7月の検針日から 平成21年8月の検針日の前 日までの期間	33円83銭	36円57銭
	平成21年8月の検針日から 平成21年9月の検針日の前 日までの期間	33円83銭	36円57銭
	平成21年9月の検針日から 平成21年10月の検針日の前 日までの期間	—	36円56銭
	平成21年10月の検針日から 平成21年11月の検針日の前 日までの期間	—	36円56銭
	平成21年11月の検針日から 平成21年12月の検針日の前 日までの期間	—	36円56銭
	平成21年12月の検針日から 平成22年1月の検針日の前 日までの期間	—	36円56銭
	平成22年1月の検針日から 平成22年2月の検針日の前 日までの期間	—	36円56銭
	平成22年2月の検針日から 平成22年3月の検針日の前 日までの期間	—	36円56銭

(ロ) 低圧深夜電力B

特別措置の燃料費調整単価および経過措置の燃料費調整単価は、次のとおりといたします。

	適用期間	特別措置の 燃料費調整単価	経過措置の 燃料費調整単価
1キロワット時 につき	平成21年4月の検針日から 平成21年5月の検針日の前 日までの期間	34銭	37銭
	平成21年5月の検針日から 平成21年6月の検針日の前 日までの期間	34銭	37銭
	平成21年6月の検針日から 平成21年7月の検針日の前 日までの期間	34銭	37銭
	平成21年7月の検針日から 平成21年8月の検針日の前 日までの期間	34銭	37銭
	平成21年8月の検針日から 平成21年9月の検針日の前 日までの期間	34銭	37銭
	平成21年9月の検針日から 平成21年10月の検針日の前 日までの期間	—	37銭
	平成21年10月の検針日から 平成21年11月の検針日の前 日までの期間	—	36銭
	平成21年11月の検針日から 平成21年12月の検針日の前 日までの期間	—	36銭
	平成21年12月の検針日から 平成22年1月の検針日の前 日までの期間	—	36銭
	平成22年1月の検針日から 平成22年2月の検針日の前 日までの期間	—	36銭
	平成22年2月の検針日から 平成22年3月の検針日の前 日までの期間	—	36銭

(5) 燃料費調整額

イ 低圧深夜電力A

燃料費調整額は、(4)によって算定された燃料費調整単価といたします。

ロ 低圧深夜電力B

燃料費調整額は、その1月の使用電力量に(4)によって算定された燃料費調整単価を適用して算定いたします。

(6) 基準単価

基準単価は、平均燃料価格が1,000円変動した場合の値といたします。

イ 低圧深夜電力A

基準単価は、1月につき次のとおりといたします。

1 契約につき	18円79銭5厘
---------	----------

ロ 低圧深夜電力B

基準単価は、次のとおりといたします。

1 キロワット時につき	18銭8厘
-------------	-------

(7) 燃料費調整単価等の掲示

当社は、(3)の各平均燃料価格算定期間における1キロリットル当たりの平均原油価格、1トン当たりの平均液化天然ガス価格、1トン当たりの平均石炭価格および(4)によって算定された燃料費調整単価を当社の事務所に掲示いたします。

3 この選択約款の実施にともなう切替措置

(1) 平成21年4月の検針日の前日までに使用される電気については、変更前

の選択約款の低圧深夜電力（平成20年2月26日届出。）および供給約款等以外の供給条件（平成20年10月31日認可。）により料金を算定するものいたします。

- (2) 低圧深夜電力Aの場合は、(1)に準じて料金を算定するものいたします。この場合、(1)にいう検針日は、そのお客さまの属する検針区域の検針日といたします。

別 表

1 通電制御型夜間蓄熱式機器

通電制御型夜間蓄熱式機器とは、次の(1)または(2)に該当する貯湯式電気温水器および蓄熱式電気暖房器等の機器をいいます。

(1) 次のいずれにも該当する機能を有するもの。

イ 給水温度を検知できること。

ロ イの給水温度にもとづいてお客さまが必要とされる湯温および湯量に沸きあげるための熱量を算出できること。

ハ ロの熱量から所要通電時間数を算出できること。

ニ 契約使用時間終了時刻からハの所要通電時間数をさかのぼった時刻に通電を開始することができること。

(2) (1)に準ずる場合で、当社が認めたもの。

2 燃料費調整

(1) 燃料費調整額の算定

イ 平均燃料価格

原油換算値1キロリットル当たりの平均燃料価格は、貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき、次の算式によって算定された値といたします。

なお、平均燃料価格は、100円単位とし、100円未満の端数は、10円の位で四捨五入いたします。

$$\text{平均燃料価格} = A \times \alpha + B \times \beta + C \times \gamma$$

A = 各平均燃料価格算定期間における1キロリットル当たりの平均原油価格

B = 各平均燃料価格算定期間における1トン当たりの平均液化天然ガス価格

C = 各平均燃料価格算定期間における 1 トン当たりの平均石炭価格

$$\alpha = 0.0445$$

$$\beta = 0.4282$$

$$\gamma = 0.5104$$

なお、各平均燃料価格算定期間における 1 キロリットル当たりの平均原油価格、1 トン当たりの平均液化天然ガス価格および 1 トン当たりの平均石炭価格の単位は、1 円とし、その端数は、小数点以下第 1 位で四捨五入いたします。

ロ 燃料費調整単価

燃料費調整単価は、各契約種別ごとに次の算式によって算定された値といたします。

なお、燃料費調整単価の単位は、1 銭とし、その端数は、小数点以下第 1 位で四捨五入いたします。

(イ) 1 キロリットル当たりの平均燃料価格が 29,500 円を下回る場合

$$\text{燃料費調整単価} = (29,500 \text{円} - \text{平均燃料価格}) \times \frac{\text{(2)の基準単価}}{1,000}$$

(ロ) 1 キロリットル当たりの平均燃料価格が 29,500 円を上回り、かつ、44,300 円以下の場合

$$\text{燃料費調整単価} = (\text{平均燃料価格} - 29,500 \text{円}) \times \frac{\text{(2)の基準単価}}{1,000}$$

(ハ) 1 キロリットル当たりの平均燃料価格が 44,300 円を上回る場合
平均燃料価格は、44,300 円といたします。

$$\text{燃料費調整単価} = (44,300 \text{円} - 29,500 \text{円}) \times \frac{\text{(2)の基準単価}}{1,000}$$

ハ 燃料費調整単価の適用

各平均燃料価格算定期間の平均燃料価格によって算定された燃料費調整単価は、その平均燃料価格算定期間に対応する燃料費調整単価適用期間に使用される電気に適用いたします。

- (イ) 各平均燃料価格算定期間に対応する燃料費調整単価適用期間は、
(ロ)の場合を除き、次のとおりといたします。

平均燃料価格算定期間	燃料費調整単価適用期間
毎年1月1日から3月31日までの期間	その年の5月の検針日から6月の検針日の前日までの期間
毎年2月1日から4月30日までの期間	その年の6月の検針日から7月の検針日の前日までの期間
毎年3月1日から5月31日までの期間	その年の7月の検針日から8月の検針日の前日までの期間
毎年4月1日から6月30日までの期間	その年の8月の検針日から9月の検針日の前日までの期間
毎年5月1日から7月31日までの期間	その年の9月の検針日から10月の検針日の前日までの期間
毎年6月1日から8月31日までの期間	その年の10月の検針日から11月の検針日の前日までの期間
毎年7月1日から9月30日までの期間	その年の11月の検針日から12月の検針日の前日までの期間
毎年8月1日から10月31日までの期間	その年の12月の検針日から翌年の1月の検針日の前日までの期間
毎年9月1日から11月30日までの期間	翌年の1月の検針日から2月の検針日の前日までの期間
毎年10月1日から12月31日までの期間	翌年の2月の検針日から3月の検針日の前日までの期間
毎年11月1日から翌年の1月31日までの期間	翌年の3月の検針日から4月の検針日の前日までの期間
毎年12月1日から翌年の2月28日までの期間（翌年が閏年となる場合は、翌年の2月29日までの期間）	翌年の4月の検針日から5月の検針日の前日までの期間

(ロ) 低圧深夜電力Aの場合は、各平均燃料価格算定期間に対応する燃料費調整単価適用期間は、(イ)に準ずるものといたします。この場合、(イ)にいう検針日は、そのお客さまの属する検針区域の検針日といたします。

ニ 燃料費調整額

(イ) 低圧深夜電力A

燃料費調整額は、ロによって算定された燃料費調整単価といたします。

(ロ) 低圧深夜電力B

燃料費調整額は、その1月の使用電力量にロによって算定された燃料費調整単価を適用して算定いたします。

(2) 基準単価

基準単価は、平均燃料価格が1,000円変動した場合の値といたします。

イ 低圧深夜電力A

基準単価は、1月につき次のとおりといたします。

1 契約につき	18円79銭5厘
---------	----------

ロ 低圧深夜電力B

基準単価は、次のとおりといたします。

1 キロワット時につき	18銭8厘
-------------	-------

(3) 燃料費調整単価等の揭示

当社は、(1)イの各平均燃料価格算定期間における1キロリットル当たりの平均原油価格、1トン当たりの平均液化天然ガス価格、1トン当たり

の平均石炭価格および(1)口によって算定された燃料費調整単価を当社の事務所に掲示いたします。